

公益財団法人大倉文化財団
令和7年度（2025年度）事業報告
令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

I 事業の状況

A 公益目的事業

1. 美術館の運営

令和7年度は、日本の色彩文化において欠かせない藍と紅花から採れるふたつの色と染料技術の歴史、そこから生まれた意匠や衣服を紹介する「特別展 藍と紅のものがたり」と、出光美術館所蔵の茶道具の中から68点を選んで日本美術における茶の湯の美を展観した「特別展 出光美術館所蔵 茶道具名品展」の2つの特別展のほか、「企画展 幽玄への誘いー能面・能装束の美」と「企画展 人々を扶け寄り添う神と仏一道釈人物画の世界」の2つの企画展に、アートウィーク東京2025を加えた5つの展覧会を開催しました。上記、5展覧会の総入場者数は38,856名となります。

2. 事業の内容

(1) 展示公開活動

[1展目]: 企画展 幽玄への誘いー能面・能装束の美

会期: 令和7(2025)年4月15日(火)～6月29日(日)

69日間(プレス内覧等3日含む)

入場者数: 8,664人(1日平均約125.5人)

担当学芸員: 平塚泰三(学芸部長)



室町時代14世紀に大和猿楽の観阿弥・世阿弥親子によって大成された「能楽」は、江戸時代に至って格調高い「武家の式楽」としての地位を確立しました。当館では、因州(鳥取藩)池田家伝来の能面と備前(岡山藩)池田家の能装束を多数所蔵していると同時に、有馬伯爵家旧蔵といわれる狂言面もコレクションに含まれております。今までにも能面・能装束に重点が置かれた展覧会が多く開催されてきましたが、この度は、狂言にやや焦点をあてた展示となっていました。能関係では約5年ぶりとなる本展では、修理が完了した「紅白段業平菱菊模様唐織」と「紫地葡萄葛模様長絹」を公開すると同時に、能・狂言の演目を描いた絵画資料や能道具などの当館所蔵の作品を中心に58件を展示いたしました。



《併催イベント》

① 報道内覧会

日時：4/14（月）14時～15時

参加人数：6人



② 講演会

「能を舞った大名たち—大倉集古館のコレクションから」

日時：5/24（土）14時から（約1時間）

講師：宮本圭造氏（野上記念法政大学能楽研究所所長・教授）

参加人数：55人

② 講演会

③ 六条山カルテットコンサート—雅の夕べ

日時：6/13（金）18:30 開演

出演：〈箏〉中野智美

〈尺八〉岩田卓也

〈チェロ〉向井航

*大谷祥子は、急病のため欠演

参加人数：71人



③ 六条山カルテットコンサート—雅の夕べ

④ギャラリートーク

日時：4/30（水）5/16（金）6/17（火）各14時から

担当：平塚泰三（学芸部長）

参加人数：30人（4/30）、35人（5/16）、30人（6/17） 計95名

⑤人間国宝 大倉源次郎特別イベント「美から紐解く能の世界」

日時：4/28（月）

主催：伝統文化交流協会

講師：大倉源次郎

参加人数：59人



⑤ 大倉源次郎氏講演会

⑥MoMA ニューヨーク一行見学会テラスパーティ

5/19（月） 18:30-20:00

参加人数：50人

[2展目]：特別展 藍と紅のものがたり

会期：令和7（2025）年7月29日（火）～9月23日（火・祝）

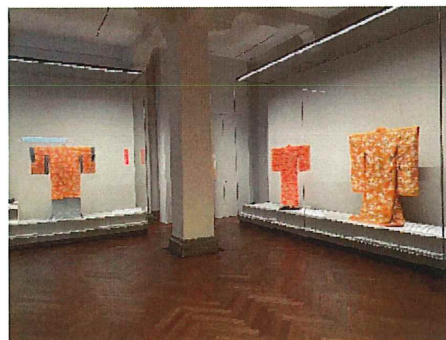
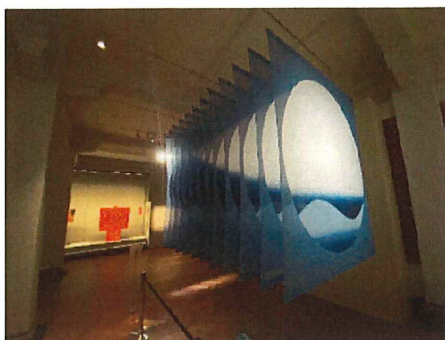
54日間（内覧会1日含む）

入場者数：9,583人（1日平均約177.5人）

担当：平塚泰三（学芸部長）、四宮美帆子（主任学芸員）

天然染料をつかった日本の色彩文化において欠かせないものが、植物のアイとベニバナから生まれる藍色と紅色です。藍は古くから日本で親しまれ、様々な染色技法と結びついてきました。本展覧会では木綿とともに広まった江戸から現代にいたる藍染の着物や浴衣を、素材や染色技法などに着目して紹介しました。その一方、古くから貴族のあこがれの色であった紅については、江戸時代の公家や武家女性が着用した美しい打掛や、紅板締めによって染色された下着や子供服、そして山形において紅花染の再興を担った人々による作品を紹介しました。本展では、ふたつの色と染料技術の歴史、そこから生まれた衣装や衣服、資料96件を紹介し、その魅力を見つめなおしました。





《併催イベント》

①報道内覧会、一般内覧会

日時： 7/28（月） 13 時～14 時（報道内覧会）、15 時～17 時（一般内覧会）

参加人数：報道内覧会 8 人、一般内覧会 57 人

②講演会 1 「ジャパンプルー」

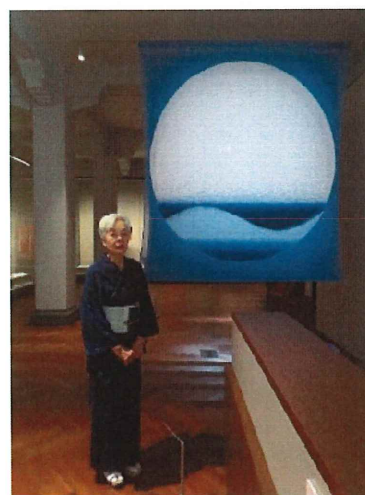
日時： 8/9（土） 14 時～15 時半

講師：福本潮子（藍染美術家）

参加人数：75 人



② 講演会 1



③講演会 2 「紅と藍の板締め」

日時：9/6（土）14時～15時半

講師：石塚広（染色研究家）

参加人数：67人



③ 講演会 2

④ギャラリートーク

日時：8/5（火）、8/28（木）、9/9（火） 各 14:00 から

担当：平塚泰三（学芸部長） 四宮美帆子（当館主任学芸員）

参加人数：40人(8/5)、70人(8/28)、75人(9/9) 計 185名

⑤ 特別ギャラリートーク

日時：8月24日（日）11時30分～11時50分

担当：平塚泰三（学芸部長）

参加人数：24人（銀座もとじ）



⑤ 特別ギャラリートーク

⑥ オークラ東京関連イベント

「ランチタイム・スペシャルトークイベント～ふたつの色の魅力と伝統の染織技法～」

日時：9/1（月） 11時～13時半、13時～15時半（展覧会観覧）

出演者：秋山眞和（「綾の手紬染織工房」創設者/伝統工芸士、現代の名工）

新田源太郎（「よねざわ新田」5代目当主/日本工芸会正会員・伝統工芸士）

場所：宴会場「オーチャード」

参加人数：122人

[3展目]：アートウィーク東京 特別展覧会「リアルとは？」

会期：令和7年11月5日（水）～11月9日（日） 5日間

※11/5 オープニングセレモニー（VIP）（9時半～10時）

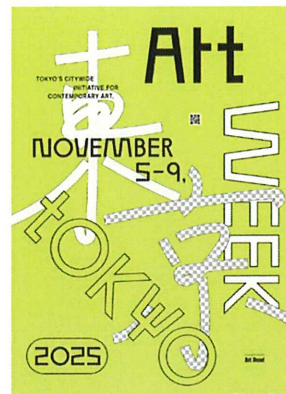
オープニングレセプション（VIP）（18時～20時）

※11/9 クロージングカクテル（VIP）（18時～20時）

入場者数：4,712人（1日平均942.4人）

担当：平塚泰三（学芸部長）、若林文彦（庶務課長）

四宮美帆子（主任学芸員）



美術館での作品鑑賞とギャラリーでの作品購入というふたつの体験を掛け合わせたAWT独自の特別展「AWT FOCUS」。第3回となる2025年は国際芸術祭「ドクメンタ14」でアーティスティックディレクターを務めたアダム・シムジックが監修を務めました。今年のプログラムタイトルは「リアルとは？」。ポスト真実（Post-Truth）の幻想が広められ、ソーシャルメディアでは非現実が生成・拡散される現代において、「リアル（現実／写真）」はどういう意味を持つのか？ アーティストたちが社会的・政治的課題に応答しながら探求してきた「リアル」の多様な表現を通じて探りました。



[4展目]：企画展 人々を援(たす)け寄り添う神と仏―道釈人物画の世界―

会期：令和7年11月22日（土）～2026年1月18日（日）

49日間（内覧日1日含む）

入場者数：7,148人（1日平均約145.8人）

担当：四宮美帆子（主任学芸員）

お正月や端午の節句などに登場する、七福神や鍾馗などの神や仏がいます。お寺や神社の奥深くにいるのではなく、人々の暮らしに溶け込みながら存在していました。現代ではあまり出会わなく



なりつつありますが、江戸時代から昭和の初め頃には、掛軸や節句人形、瓦人形などに表現され、人々の願いに応じてきました。本展では、七福神や鍾馗などの民間信仰の神とともに、仏教の仏である普賢菩薩や文殊菩薩、禅宗で祀られた親しみのある姿の布袋、異国情緒を醸し出す奇怪な風貌の羅漢など、道教や仏教の神仏や人物を描いた「道釈人物画」を取り上げ、私達人間のそばに寄り添い、邪悪を払い、願いを叶え、ある時には生きる姿勢を示してくれた神や仏の姿を紹介しました。

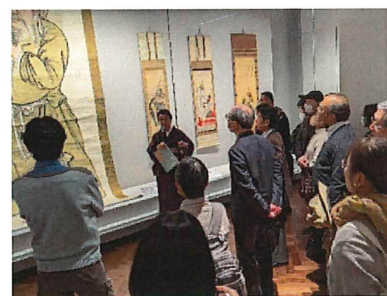


《併催イベント》

①報道内覧会

日時： 11/21（金）13:30～時

参加人数：報道内覧会 4 人



②ギャラリートーク

日時：12/5（金）、12/10（水）、12/25（木）、1/9（金）14時～15時

担当：四宮美帆子（当館主任学芸員）

場所：大倉集古館 展示室

料金：無料（要入館券）

参加人数：44 人（12/5）、30 人（12/10）、47 人（12/25）、58 人（1/9）

②ギャラリートーク

③大倉集古館の歴史と建物（スライドトーク&敷地ツアー）

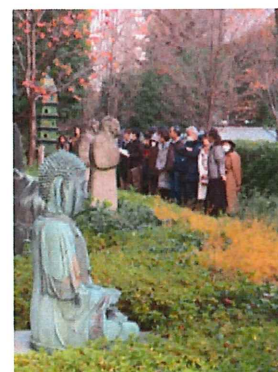
日時： 12/19（金）14時～15時30分

担当：四宮美帆子（当館主任学芸員）

場所：大倉集古館、展示室、屋外

料金：無料（要入館券）

参加人数：34 人



③敷地ツアー

④その他特別ギャラリートーク

日時：12/16（土）大宮ロータリークラブ

担当：四宮美帆子（当館主任学芸員）

場所：大倉集古館 展示室

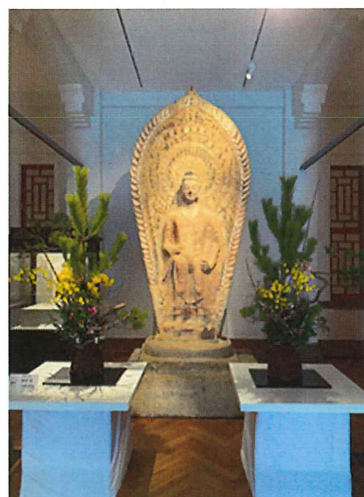
参加人数：31 名

⑤華道家元池坊 正月生け花展示

協力：蔵重伸、大嶋晴代

日時：令和6年1/1（水・祝）～1/12（月・休）

場所：大倉集古館 正面玄関・1階展示室



〔5展目〕特別展 出光美術館所蔵 茶道具銘品展

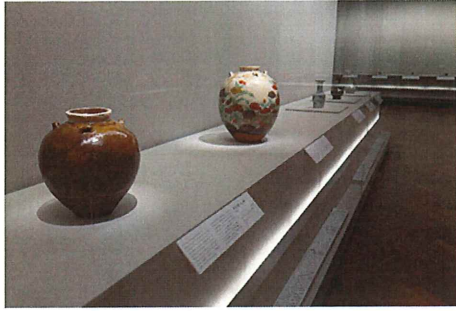
会期：令和8（2026）年2月3日（火）～3月23日（日） 43日間（内覧日含む）

入場者数：8,751人（1日平均約203.5人）

担当：平塚泰三（学芸部長）、四宮美帆子（主任学芸員）

茶の湯の美術は日本美術の中にあって、その一翼を担っている不可欠な分野であり、そこで使われる道具類は、絵画・書跡・陶磁・金工・漆工・木竹工などあらゆる分野にまたがっております。本展覧会では、出光美術館が所蔵する多くの名品の中から、茶道具を構成する多種多様な68点の作品を、「一、床飾りの茶道具」「二、点前の茶道具」「三、近代の茶道具」「四、懷石のうつわ」の4章に構成し、日本美術を横断的に鑑賞する機会をご提供いたしました。





《併催イベント》

①内覧会(報道・一般)

日時： 2/2(月)13時15分～15時(報道)、
15時～17時(一般)

参加人数：報道2人、一般91人(合計93人)

②講演会「出光コレクションの茶道具について」

日時：3/7(土)14時～15時

講師：田中伝氏(出光美術館 主任学芸員)

参加人数：63人



③特別ギャラリートーク

日時：2/20(金)、3/13(金)各14時～15時

担当：出光美術館主任学芸員 田中伝氏

参加人数：80人(2/20)、81人(3/13)

④ギャラリートーク

日時：2/10(火)、2/27(金)各14時～15時

担当：平塚泰三(学芸部長)

参加人数：39人(2/10)、30人(2/27)



⑤臨時ギャラリートーク

日時：2/7(土)11時～12時、3/10(火)15時～16時

担当：平塚泰三(学芸部長)

参加人数：23人(日本書道研究会、2/7)、
9人(森巖寺懇親会、3/10)

(2) 収蔵品の調査・研究・保存活動(主なもの)

[調査研究活動]

【特別観覧】

① 6月26日(木) 13:00～15:00

狩野栄信「通円図」3幅対【A63】

高尾 曜(国立能楽堂 事業推進課主任専門員 兼 調査資料係長)

小林健二(国文学研究資料館名誉教授)

② 令和8年1月14日(水) 10:00～12:00

大勝金剛像 1幅【A16】

樋口美咲(神奈川県立歴史博物館 任期付学芸員)

【収蔵品の貸出し】

4月1日から3月31日までの当館からの貸出しは、計8件で内訳は、国宝：3件、重要美術品1件、その他4点となります。詳細は、以下の表のとおりです。

指 定	作品名	作者	展覧会会場名	展覧会会期	展覧会名
国 宝	隨身庭騎絵巻		大阪市立美術 館	2025年4月26 日(土)～6 月15日(日)	日本国宝展
国 宝	古今和歌集序				
国 宝	普賢菩薩騎象像				
	蹴合	竹内栖鳳	愛知県美術館	2025年7月4日 (金)～8月 17日(日)	近代日本画のト ップランナー 竹内栖鳳
	七夕(左隻)	鐙木清方	九州国立博物 館	2025年7月5日 (土)～8月 31日(日)	きゅーはくのた から

重 美	扇面流図屏風	宗達派	石川県立美術館 (貸出先は東京 国立博物館)	2025 年 11 月 15 日(土) ～12 月 21 日(日)	ひと、能登、ア ート。
	通円図	狩野栄信	国立能楽堂	2025 年 10 月 17 日(火)～12 月 3 日(水)	狩野派絵師の能 楽への眼差し
	維摩黙然	下村観山	東京国立近代 美術館	2026 年 3 月 17 日(火) ～ 5 月 10 日(日)	下村観山展
	不動尊				

[保存活動]

令和 7 年度の保存修理については、別紙「令和 7 (2025) 年度 修理物件リスト」を参照のこと。

保存修理の総件数は 14 件、内訳は絵画関係 4 件(本紙修理 3 件、軸先修理 1 件)、能装束 2 件、能面関係 5 件(能面修理 4 件、面あて作成 1 件)、刀剣手入れ 1 件、オークラウロ修理 2 件となります。なお、No. 1, 2 の絵画と No. 5, 6 の能装束は令和 7 ～8 年度の 2 か年で、No. 3 の絵画は令和 7 ～9 年度の 3 か年で修理を行います。その他の作品については修理を終了しています。

3. 教育・普及活動

令和 7 年度前半では、例年開催されている Ark Hills Music Week に本年も参加し、オークラウロ トリオ コンサートを開催しました。本年は展覧会がない期間のため、入館料・参加費を無料とした上で、特別に屏風絵 3 点を展示し、横山大観「夜桜」の前で演奏者との撮影できる場を設けました。この様に、より幅広いお客様層に対して、普及活動を行っています。

①Ark Hills Music Week2025 オークラウロ トリオ コンサート

日時：10/7 (火) 18 時 30 分～19 時 30 分

出演：小湊昭尚 (ソプラノ・オークラウロ)

大河内淳矢 (アルト・オークラウロ)

元永拓 (バス・オークラウロ)

担当：四宮美帆子（主任学芸員）

場所：大倉集古館 2階展示室

参加人数：89人



②開催展覧会のリーフレットの無料配布

企画展「幽玄への誘いー能面・能装束の美」と特別展「藍と紅のものがたり」では、来館者の鑑賞への手助けとして、開催展覧会の解説用リーフレットを作成し、無料で配布しました。



企画展「幽玄への誘いー能面・能装束の美」のリーフレット



特別展「藍と紅のものがたり」のリーフレット

B. 収益目的事業

来館者の来館記念、さらには好みの美術・芸術作品を身近に置いて生活を豊かにする手助けとして、当館所蔵の美術作品をモチーフにしたポストカード、クリアファイル、一筆箋、関係書籍等のミュージアムグッズを低廉な価格で提供する来館者支援事業を継続して行っています。ミュージアムグッズ販売のショップ運営は、外部委託により行っております。

C. 法人の運営体制の充実を図るための取組

当法人の令和7年度のガバナンス体制の充実を図るための取組は以下のとおりです。

1. コンプライアンス及び内部統制の整備を開始

1) 法人の規程類の整備を開始（不足規程の追加）

- ・個人情報保護法の規程を作成。令和7年11月28日開催の理事会にて承認済
- ・①倫理規程（行動基準）②コンプライアンス規程③リスク管理規程案を策定。

令和8年5月26日の理事会にて付議・承認を受ける予定です。

2) 職員へのハラスメント研修の実施（令和7年12月23日）

3) 内部統制の中の重要な位置付けである財務報告の信頼性を確保するため外部専門家（公認会計士）と顧問契約を締結。

2. ガバナンス強化

1) 定款の役員選任の条文見直しを実施（進捗中）

2) 監事の増員を検討

監事の1名から2名への増員を検討しました。

その選任に関して、企業ガバナンスに知見のある上場企業の非常勤監査役を

人選し、令和 8 年 6 月 12 日評議員会にて選任予定です。

3) 事務局体制の強化

外部専門家（公認会計士）と顧問契約を締結、会計チェック機能を導入し業務の適正化を確保しました。

以 上